

あらゆる垣根(バリア)を越えて、 テーブルで行う「盆略点前」で和を発信

田中さんは茶道家の家に生まれ、幼い頃から茶道に親しんでこられました。その中でも特にテーブルで行う「盆略点前」に注目されたきっかけを教えてください。

「世界の方々と交流し、コミュニケーションを深めていくには、自国の伝統や文化を理解し、身につけておくことの必要性を実感していました。真の国際人を育てるため、私がお役に立てることは何だろうか考えたとき、テーブルを用いて誰もが気軽にできる盆略点前に行き着いたんです」



▲「バリコレ2017」にて、「車いす和文おもてなし隊」のメンバーと田中さん(後列左から2人目)

「バリコレ2017」の京都市ブースにて、お客さまをテーブルでする「盆略点前」でもてなした「車いす和文おもてなし隊」(2~5ページ)の発起人であり、メンバーにお点前を指導している代表の田中賀鶴代さんにお話を聞きました。



田中賀鶴代さん

Profile/たなか かつよ。茶道裏千家 専任講師、おもてなし接遇コンサルタント、京都観光おもてなし大使、京都府文化観光大使、茶源郷和東PR大使。有限会社アリカエンタープライズ代表取締役。

「障がいのある方にとって『おもてなし』は、常に『受ける側』と感じておられるのでは。でも、テーブルですることのお点前なら、自分が『もてなす側』として主役になれる。これこそが、盆略点前を広めていく大きな意義だと思っただけです。メンバーの中には、いつも周囲に『ありがとう』と言っていた自分が、お客さまからお礼を言われる立場になったことが新鮮で楽しいとの声も。その言葉は私にとってもうれしく、印象的でした」

田中さんは以前から講座やセミナーなどを通して、テーブルでする盆略点前を広める活動に取り組んでおられます。そして今年9月には「車いす和文おもてなし隊」を発足されました。

茶道という、ちょっと堅苦しいイメージがあったり正座が苦手で敬遠したりする人もいますが。「テーブルと椅子でする盆略点前には、その垣根を超える魅力があるんです。初心者の方でも洋服でもできるため、自宅のリビングやオフィスアウトドアでのイベントなど、さまざまなシーンで楽しんでいただけます。用いるお道具も少ないので、私はバッグに入れて旅先に持参し、ホテルや空港のロビーでお茶を振る舞ったこともあるんですよ(笑)」

「障がいのある方にとって『おもてなし』は、常に『受ける側』と感じておられるのでは。でも、テーブルですることのお点前なら、自分が『もてなす側』として主役になれる。これこそが、盆略点前を広めていく大きな意義だと思っただけです。メンバーの中には、いつも周囲に『ありがとう』と言っていた自分が、お客さまからお礼を言われる立場になったことが新鮮で楽しいとの声も。その言葉は私にとってもうれしく、印象的でした」

「『障がいのある方にとって』おもてなしは、常に『受ける側』と感じておられるのでは。でも、テーブルですることのお点前なら、自分が『もてなす側』として主役になれる。これこそが、盆略点前を広めていく大きな意義だと思っただけです。メンバーの中には、いつも周囲に『ありがとう』と言っていた自分が、お客さまからお礼を言われる立場になったことが新鮮で楽しいとの声も。その言葉は私にとってもうれしく、印象的でした」

今後の目標や夢は？

「『どの国でも、みなでお茶を飲む機会があります。その時、抹茶にする？』と言える日本人をいっぱい作ること。日本の文化でおもてなしをする光景が世界中で見られるって、とっても素敵だと思いませんか？」



▲メンバーにお点前を指導している様子

オール京都 オールジャパン オールピープル オールカルチャー

心と心が通い合い、人と人が響き合い、
世界が、一人ひとりが、もっと輝くように。
私たちは「すべて」の「ご縁」を大切にしながら、
和の心と文化を発信しています。

《事業内容》おもてなし接遇マナー講演・企業研修・顧問 テーブルでする正式な茶の湯のおもてなし「盆略点前講座」

有限会社アリカエンタープライズ <http://www.arica.co.jp/>

